

# 令和8年度船橋在宅医療ひまわりネットワーク

## 人材育成委員会 基礎研修

船橋在宅医療ひまわりネットワークでは、地域の医療・介護関係者が連携の知識を習得し、連携をマネジメントでき、医療介護に関わる仲間のすそのを広げられるよう、連携に必要な基礎的な疾患等の知識を習得し、多職種（及び多機関）によりチームアプローチや病院・在宅の連携方法等の基本を学ぶことを目的としています。

### ～今回は『地域BCP』の基礎について学びます～

災害が起きても、地域で必要な医療・介護を途切れさせないために、“もしも”のときに、地域でどう支え合うかを一緒に考えてみませんか？

令和8年

**10月24日（土）**

14：00～16：30

（13：50入室開始）

会場

ZoomによるWeb開催

参加費

無料

対象

ひまわりネットワーク会員  
市内医療・介護関係者

定員

90名（先着順）

### 1 オリエンテーション

「船橋在宅医療ひまわりネットワークの取り組み」

### 2 基調講演

「災害に備える！

基本から学ぶ地域のBCP」

やまぎし あけみ

講師：山岸 暁美 氏

一般社団法人コミュニティヘルス研究機構 機構長・理事長

神戸市看護大学大学院臨床教授

慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室 講師

### 3 質疑応答

申込方法については裏面をご覧ください ➡



船橋在宅医療  
ひまわりネットワーク

申込期日

令和8年10月18日（日）

【二次元コード】

申込方法

次の方法により、お申し込みください。

下記のURLあるいは右記の二次元コード

【URL】 <https://ttzk.graffer.jp/city-funabashi/smart-apply/apply-procedure/8500572979659882644>



※研修会への参加にあたり、ID・パスコード・資料など、研修の参加に必要な事項について  
10月22日（木）までにメールにてご連絡いたします。  
届かない場合は、お手数ですが事務局までお問い合わせください。

問い合わせ先

船橋在宅医療ひまわりネットワーク事務局  
（船橋市 地域包括ケア推進課内）

【TEL】 047-436-2354 【FAX】 047-436-1005

【E-mail】 [hokatsu-care@city.funabashi.lg.jp](mailto:hokatsu-care@city.funabashi.lg.jp)

## 人材育成委員会の活動について

船橋在宅医療ひまわりネットワーク人材育成委員会では、医療及び介護の専門職等が連携を図る上で必要な知識を習得する機会を以下の研修スキームに沿って設けています。

### 【在宅医療・介護連携における人材育成の研修体系】

#### R7在宅医療・介護連携における人材育成の研修体系(暫定版)

【目的】 多職種(及び多機関)による連携により、本人のその人らしさを支える支援を行う

【目標】 本人が満足できる連携の知識を習得し、  
連携をマネジメント出来る！

すそのが広がる！

○疾患別の特徴等に応じた基礎的知識(※1)、在宅医療と介護連携のイメージを想定した応用的な知識(※2)を通じて、多職種(及び多機関)連携の必要性を学び、活かす。  
○「対話」を通じて、本人の尊厳を守る(本人の選択・決定)支援をどのように行うのか学び、活かす。  
○医療・介護関係者が本人の尊厳を意識した多職種協働による一体的な連携(アプローチ)方法を学び、活かす。

○多くの医療・介護関係者が、多職種(及び多機関)の協働・連携に関する研修に参加する。  
○医療・介護の職種によりそれぞれ視点があることや、個々の価値観や文化も様々であることを学び、活かす。  
○顔の見える関係、仲間づくりを行える。

#### 【研修体系スキーム】

##### ※2【ひまわり連携応用研修】

・在宅医療と介護連携のイメージを想定した応用的な知識を習得する。  
・多職種(及び多機関)によるチームアプローチや病院・在宅の連携方法等を実践的に学ぶ。

研修領域は定めず、医療と介護が主に共通する4つの場面  
「日常の療養支援」「急変時の対応」「入退院支援」「看取り」等の実際の場面を想定した研修。

##### ※1【ひまわり連携基礎研修】

・疾患別の特徴等に応じた基礎的な知識を習得する。  
・多職種(及び多機関)によるチームアプローチや病院・在宅の連携方法等の基本を学ぶ。

##### 疾患編

悪性新生物、心疾患、脳血管疾患、難病、感染症など

##### 研修領域

##### その他

高齢者特性、緩和ケア（非がんを含む）、災害など

各研修の修了時に、ポイントを取得

ひまわりマイスター認定  
検討中

各団体においては、各職能別・施設ごとに必要な基礎知識を習得できる研修会を実施するとともに、ひまわり研修への参加の働きかけを行う。

【ひまわりネットワークの目指す多職種連携とは】

準 備 中



船 橋 在 宅 医 療  
ひまわりネットワーク